

己が身にひきくらべて殺してはならぬ 殺さしめてはならぬ

お念仏の 家族に なるう

毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

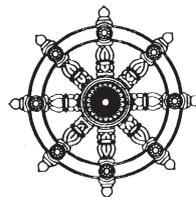
お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

# 青色青光

No.311



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

13:30 勤行『讚仏偈（律曲）』

13:45 法話「サンガのお寺、純正寺」

14:15 定期門徒総会

2021 年度活動報告

2021 年度会計決算報告

2022 年度活動計画

2022 年度会計予算

新駐車場用地整備進捗状況報告

15:00 恩徳讚齊唱・終了

日時 四月二十三日（土）  
午後一時半から三時まで

## 永代経法要 定期門徒総会

※本堂では、できる限りの感染対策はしていますが、発熱・咳など体調がすぐれない場合は無理をせず、参拝はお控えください。

YouTube 純正寺チャンネル

LINE 純正寺公式アカウント



QRコードリーダーで読み込んでください。

4月25日（月）

10:00~12:00.13:30~15:30

### こんき常例布教

法話：寶琳寺 八木 益夫 師

純正寺の法要は「YouTube」「LINE LIVE」で、生配信でも録画でもご視聴・お聴聞していただけます。

## 住職法話我聞如是

われかくのごとくきく

殺してはならぬ、殺さしめてはならぬ

戦争と真宗念仏者の責務

## 殺し・殺される悲劇

先月二月二十四日、ロシアによる隣国ウクライナへの侵略戦争が開始されました。それから一ヶ月、この

戦争によってウクライナ・ロシア両国の軍隊の兵士、ウクライナ国内の大人や子どもまで、一般の人たちのいのちが傷つけられ奪われているのが傷つけられ奪われている惨憺たる状況は、見るにつけ大きく深い悲しみを感じずにはいられません。また、ウクライナではもちろんのこと、ロシア国内でもプーチン大統領の「核兵器」の使用も辞さな

い状況に対して、「戦争反対」に立ち上がっている市民へのロシア政府による弾圧・拘束にも憤りを禁じ得ません。

私たちは仏教徒として、真宗念仏者として、ロシアによるウクライナへの侵略戦争に断固反対し、一刻も早い両国の話し合いの場での交渉による解決をもつての終戦を強く望みます。

昼と言わず夜と言わず、今この瞬間にもこの戦争によって親を失い、子を失う人が毎日増え続けています。そして、<sup>あらが</sup>抗えない命令のま

まに銃の引き金を引き、己が意に反して他者のいのちを奪わざるを得ない何十万人の兵士がいます。

いのちを奪われることはもちろん悲劇ですが、いのちを奪う行為をさせられる兵士にとつても、それは大きな悲劇です。

## 「真理の言葉」

今、仏教徒であり真宗念仏者である私たちは、一人ひとりが己の身に引き当ててお釈迦様の「真理の言葉」に真剣に耳を傾けずにはおられません。

「すべての者は暴力におびえ、すべての者は死をおそれる。己が身をひきくらべて、殺してはならぬ。殺さ

しめてはならぬ」

「すべての者は暴力におびえる。すべての生きものにとつて生命は愛しい。己が身にひきくらべて、殺してはならぬ。殺さしめてはならぬ」『ダンマ・パダ第十章「暴力」』より

武力という暴力の行使によつては、憎しみが増すばかりで、互いに報復の繰り返しとなり、そこには永遠に平和はもたらされません。この戦争を真に終わらせる唯一の手段は、両国が「殺し殺される」ことに悲惨さを胸に刻みつつ行う話し合いのみです。二十世紀に、二度の世界大戦を起こしてしまった私たち人類は、今こそこの世に地獄を作り出

した、戦争という言葉に絶する経験を振り返るべき時ではないでしょうか。

**再び戦争ができる国に**

今、日本国内でもこのウクライナでの戦争に便乗して「軍備力増強」に加えて、広島・長崎への原爆投下の惨禍を経験したこの日本に、「非核三原則(核は保有しない、核は製造もしない、核を持ち込ませない)」を破棄して、「核兵器の共同保有」をさせようとまで言う政治家が現れています。彼らの声は「平和憲法(前文・第九条)」を変えていこうという声でもあります。現在、衆議院議員の四分の三が改憲派といわれ、この夏の参

議院議員選挙で全議員数の三分の二が改憲派になれば、これから三年で一気に憲法改正の動きが加速することでしょう。

平和憲法である日本国憲法は、この国の憲法ではありませんが、二度の世界大戦の悲劇から生み出された人類の叡智の結晶でもありません。もし今、再び戦前の「武力対武力」に世界が逆戻りするならば、今度こそ本当に私たち人類は破滅への道を突き進むことになることが、この度のウクライナでの戦争によっていよいよ明らかになりました。

**真宗念仏者の責務**

私たち浄土真宗本願寺派

は、七十七年前までの日本による侵略戦争に積極的に加担・協力していった痛恨の歴史を持っています。それは、戦場で、空襲で、そして原爆などでいのちを奪い奪われていくという取り返しのない悲痛な加害と被害を、七十七年経った今も背負い続けなければならぬ状況を生み出しました。

純正寺も、ご存知の通り第二次世界大戦の末期である一九四五年七月に、強制疎開命令によって本堂や庫裡など建物すべてを一度に失い、戦後四十年間も本堂のない寺院であることを強いられました。

今、それと同じ思いを、

世界の誰にも味わってほしくありません。そして、仏教徒であり真宗念仏者である私たちは、再び七十七年前の過ちを犯してはなりません。ウクライナでの戦争は、決して対岸の火事などではありません。明日の日本の姿かもしれないのです。あなたも真宗念仏者ならば、どんなに小さなことでも構いません。非戦平和の行動をして参りましょう。それが、私たち真宗念仏者の責務なのですから。

「NO WAR」

「戦争反対」

「НЕТ ВОЙНЕ」  
(ロシア語)

今月のエコキャップ 一、四四五、八四〇個

三月は、純正寺前の道路が工事で通行止になった影響か、八〇〇個のキャップのお預かりに止まりました。



# 純正寺4月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



## ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

3日(日)・17日(日)  
16:00~18:00  
小学生・中学生対象  
教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。手洗い・マスクを忘れずに。

## 釈尊降誕「花まつり」

7日(木)  
14:00~15:00  
年齢性別は問いません  
お釈迦様のお誕生を祝い感謝するつどい。花御堂で灌仏をしておつとめをします。お土産も。

## キッズサンガ「ほとけの子ども会」

9日(土)・30日(土)  
16:00~18:00  
就学前・小・中学生対象  
『らいはいのうた』のお勤めをした後、住職が仏典童話の読み聞かせをします。

## 世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

10日(日)  
18:00~20:00  
年齢・性別は問いません  
大慈悲に如何に生きるか。今月は、参加者からの問題提起からの自由テーマでの話し合い。

## ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

12日(火)・26日(火)  
10:20~11:30  
年齢・性別は問いません  
お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

## みんなの食堂ビハーラ

14日(木)・28日(木)  
17:00~19:00  
年齢・性別は問いません  
今月も、感染対策を万全にしつつ、本堂での会食を中心に、みんなで食べる楽しいひと時を計画しています。

## 法義示談「月例法話会」

19日(火)  
14:00~16:00  
年齢・性別は問いません  
参拝者の提起や質問を手掛かりに、車座になって話し合いながら、仏法に聞きます。

## 「永代経法要」「定期門徒総会」

23日(土)  
13:30~15:00  
純正寺所属門徒  
永代経法要は『讃仏偈』のお勤めと住職法話。後半は、3年ぶりの対面での門徒総会。

## こんき常例布教

25日(月)  
10:00~12:00.13:30~15:30  
年齢・性別などは問いません  
所属寺の枠を超えての朋友ができる法座。ご法話は、愛荘町寶琳寺の八木益夫師です。

**戦争には協力しません**  
ロシアによるウクライナへの武力侵攻が続く中、国内外に避難される方が増え続けています。その人道支援の一助になればと、純正寺本堂に募金箱を設置しています。皆様の志と、募金へのご協力をどうぞよろしくお願ひします。

## 清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:45  
年齢・性別など問いません  
『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。LINELIVE で生配信もします。

## 住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません  
生きることが辛くなる悩みは、早めに気軽にご相談下さい。相談予約専用電話番号は 090-7874-2849 相談予約専用メールアドレスは namo-yorozu@docomo.ne.jp